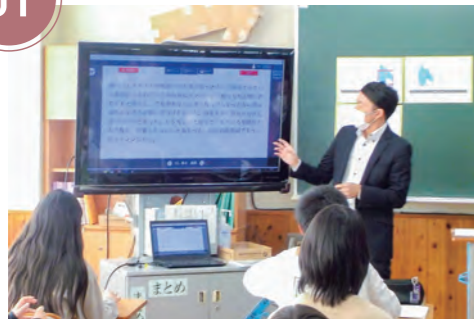


ICT 機器を使った授業風景 島小学校 (授業改善推進モデル校) の活用事例を紹介します。

01 先生から課題の説明を受けます



先生が電子黒板を用いて説明し、子どもたちの興味関心や意欲を高めます。

02 個別に課題へチャレンジ



タブレット端末を使い、自分なりの考えを表現していきます。

03 みんなで情報を共有します



班ごとに集まって、一人ひとりの考えを互いに共有し、意見を出し合います。

04 意見を発表します



自分やクラスメイトの意見をタブレット端末と電子黒板で共有。さまざまな学びに触れて課題への理解を深めます。

みんなの考えが
すぐに分かって
参考になったよ!

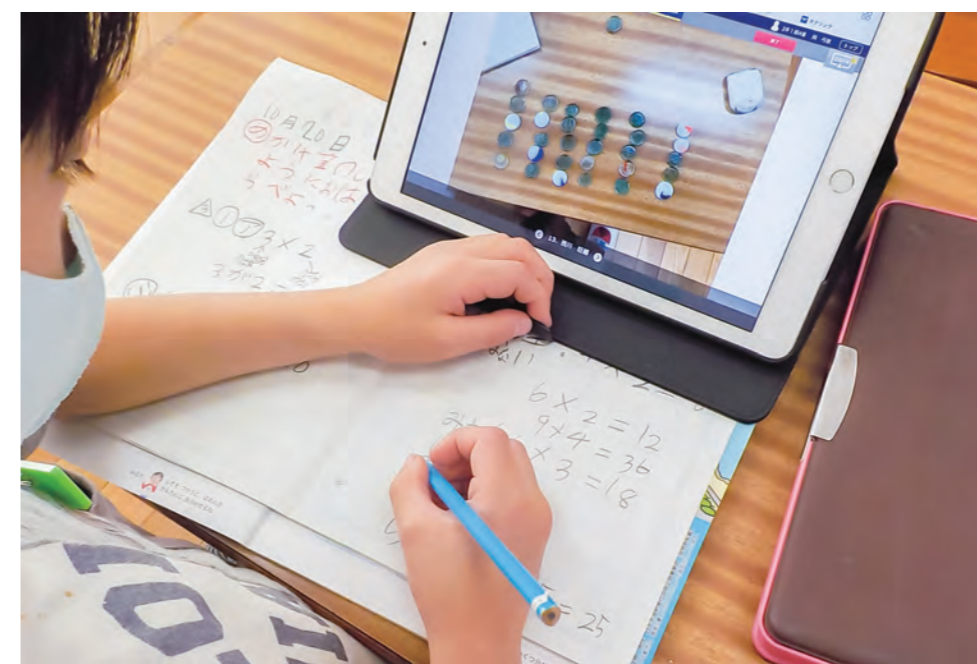
友達の考えたものが
いろいろ見られて
楽しかった!



現場のこえ

ICT を活用することで、お互いの考えを共有し合うことが簡単になりました。アナログとデジタルの両方を大切にしながら、授業づくりをしていきます。

島小学校 佐伯 岳彦先生



おはじきを使った友だちの九九の考えをアプリで共有し、ノートに式で表します (島小学校)

第2期近江八幡市教育振興基本計画の「急速な情報化社会や技術革新に対応した教育環境の整備・充実」施策に基づき、ICT機器を整備しました。今回は、ICT機器を学校現場でどのように活用しているのか紹介します。

問 教育総務課 TEL (36)5539・FAX (32)3352

なぜICTが学校に必要なの？

あらゆる情報があふれる現代では、必要な情報を自ら選び取り、その情報を有効に活用していく力が非常に重要となります。

この力を使って、子どもたちが情報化社会の中で活躍できるよう、また夢に向かって未来を切り拓いていく力を育むため、学校教育にICTを取り入れています。

ICTを活用するメリット

01

try & error

簡単に試行錯誤できる

タブレット端末では、自分の考えを書き込んだり、付け足したり、書き換えたりすることを、簡単に何度でも行うことができます。

02

save

学びを蓄積できる

学習したことを、データとして保存し、小学1年生から中学3年生まで、いつでも振り返ることができます。

03

share

瞬時に学びを共有できる

電子黒板やタブレット端末に児童生徒の考えを映し出すことで、瞬時に学びを共有することができます。

教育委員会より

本市では近江八幡市学校教育情報化推進計画を策定し、ネットワーク環境やICT機器などを整備していくことで、GIGAスクール構想の実現や時代の変化に対応した教育が行えるようすすめています。

また、子どもたちの可能性を広げていけるよう、ぜひ各家庭においても子どもの見守りや健康管理、セキュリティを含めたICT機器に関するルール作りなどについて話し合ってみてください。

用語解説

ICT 「Information and Communication Technology」の略語で、パソコンやスマートフォン、タブレットなどを活用した情報処理や通信技術のこと。

GIGAスクール構想 1人1台のタブレット端末と、高速大容量の通信ネットワーク環境を一体的に整備することで、一人ひとりの学習状況に応じた教育の実現を目指す文部科学省の構想。